			3	平成3	1年度行	<b>了政</b>	事業レ	ビュ	ーシート	(	<del></del>	興庁	)	_
事業名	福島イ	ノベーション	・コースト	構想推進基	<b>基盤整備事業</b>		担当部	局庁	復興庁			作	<b>或責任者</b>	
事業開始年度	平成	30年度	事業 (予定	終了 )年度	平成324	年度	担当	課室	統括官付参	事官(予算・:	会計担当)	参事官 増	田 直樹	
会計区分	東日本	本大震災復興	!特別会計	t										
<b>根拠法令</b> (具体的な 条項も記載)	福島征	畐島復興再生特別措置法第81条~第89条 -						する	〇福島イノ 旧場では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本では 日本	間際産学官する 協定(平成28年12) 成28年12 興工運戦の 選戦の 選戦の 選戦の 選戦の 選戦の 選戦の 選挙の 選挙を 選挙を 選挙を 選挙を 選挙を 選挙を 選挙を 選挙を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	コースト構想 は同利用施設 (28年1月) 福島復 目) 間措置法の一 は 下の基成で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	想に係るロス設(ロボット) か速のため 一部を改正す 5針2017」( <sup>1</sup> 〒6月) 成29年6月)	) ボットテストフィー の整備及び運 の基本指針に する法律」(平成 で成29年6月) 興・創生の実現	-
主要政策・施策	_						主要紀		その他の事					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	想を推 企業と などで	進していくため の連携促進等 、国、県、民間	には、福! を進めてい 団体等が	島ロボットラ いくことがす	テストフィールト 重要。このため	・ 等の名 、福島	ト拠点施設( ロボットテス	の効率的 トフィー	いた事労り加し	(の利活用の仮 記設の運営、関	足進、各種プロ <mark>連プロジェク</mark> ト	ジェクトの創出 への創出、関係	された。今後、同様 は、地元企業と域が 主体間の連携促近	ı
<b>事業概要</b> (5行程度以内。 別添可)	]。 ②関連事業創出等事業 福島イノベーション・コースト構想の具体化に向けて関連フ [補助率]				定額			<b>閉係主体間の連</b>	携促進に必要	な費用を補助	する。			
実施方法	補助													
				28	3年度		29年度		30年度		31年度	3	2年度要求	
		当初予	算		-		_		767		927		1,020	_
		補正予			_		_		<b>▲</b> 170	▲ 170		-		
	予算の状	前年度から			-		_		-					_
予算額・	況	翌年度へ			_		_		_		_			
<b>執行額</b> (単位∶百万円)		予備費 ————	<b>等</b>		_		_		_		_			
		計			0		0		597		927		1,020	_
		執行額							447					
		執行率(%	)		-		_		75%					
		予算+補正予算 執行額の割合			_		_		75%					
		歳出予算目		31年度	当初予算	3	2年度要求	ŧ			主な増減理	曲		
平成31・32年度	拠,	点施設運営等	等事業		502		1,020							
予算内訳 (単位:百万円)	関	車事業創出等	等事業		425		1,020							
		計			927		1,020							
	定量的な成果目標			成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度		
│ 成果目標及び │ │ 成果実績	短自鸣	1. 注:	生の企	<b>垣</b> 自旧语	13.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.	<u></u>	成果実績	-	_	1	16	-	-	
(アウトカム)	業によ	具浜通り地域 るプロジェク	トの累	業による	事業化達成		目標値	-	_	_	_	-	100	
	計事第 	€化件数100億	午。	(累計)			達成度	%	-	-	_	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名								5%		_				

動指	標及	及び	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
活動アウト	実約	責	拠点施設を活用した実証件数	活動実績	_	-	_	37	_	_		
			<b>ルボルのでも用いて大皿 一致</b>	当初見込み	-	-	_	-	-	-		
			算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年原	度活動見込		
単位当		<u>:</u> り		単位当たり コスト	_	-	_	27		_		
	^r		運営費執行額/拠点施設の利活用件数 	計算式	-	-	-	124百万円/37件		-		
		政策	Ⅳ. 中小•地域									
		施策	5. 福島•震災復興									
		281	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標	目標年度 32 年度		
		測定指標	_	実績値	-	-	-	-	-	-		
政	数   数   衰	'AKI'		目標値	-	-	ı	-	-	-		
東	STE		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
政策評価	西	の連携 なお、	本事事業により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早期	gの効率的な運 おいて産業集 政府方針等に1	宮や拠点 積や新た 復興施策	の利活用のな産業基盤の	促進、各種で D構築を図る	0				
<b>東評価</b>		のな島 (3.1)中略を行り、証用というでは、 多新中野のでは、 できまれる できません いいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施記 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の 引発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力	受の効率的な選 こおいて産業集 政府方針等に得 期の実現を図る 「指針」(平成28 機器としての活 開施設の整備	宮や拠点 積や新た 復興施策 3年12月20 明も期待 を着実に	の利活用のな産業基盤のとして位置で の日閣議決定 される災害用 進める。加え	促進、各種え D構築を図る けられており ) コーボットの で、浜通り地	。 、本事業を着 開発への貢献 域における産	ままに推進す にも資する口 産業集積の実	ることにより、i コボット研究・実 現に向けて、!		
	<b>西</b>	のな島 (3.1)中略を行り、証用というでは、 多新中野のでは、 できまれる できません いいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施記 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・計算等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 ・大を図る。(略)	受の効率的な選 こおいて産業集 政府方針等に得 期の実現を図る 「指針」(平成28 機器としての活 開施設の整備	宮や拠点 積や新た 復興施策 3年12月20 明も期待 を着実に	の利活用のな産業基盤のとして位置で の日閣議決定 される災害用 進める。加え	促進、各種え D構築を図る けられており ) コーボットの で、浜通り地	。 、本事業を着 開発への貢献 域における産	ままに推進す にも資する口 産業集積の実	ることにより、i コボット研究・実 現に向けて、!		
—————————————————————————————————————	西	のな島(3.(1)(証用び取事 (算) 表新中野)(証用び取事 (質) をおいる (質) できます。 おいま (質) おいま (質) できます。 おいま (質) できます。 これ (質) できまます。 これ (質) できます。 これ (質) できまます。 これ (質) できままます。 これ (質) できまままます。 これ (質) できまままます。 これ (質) できままままままままままます。 これ (質) できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施記 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・計に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・計に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・計に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・対に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・対に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・対して、必要を表して活力。 ・大を図る。(略)	受の効率的な選 こおいて産業集 政府方針等に得 期の実現を図る 「指針」(平成28 機器としての活 開施設の整備	宮や拠点 積や新た 復興施策 3年12月20 明も期待 を着実に	の利活用のな産業基盤のとして位置で の日閣議決定 される災害用 進める。加え	促進、各種え D構築を図る けられており ) コーボットの で、浜通り地	。 、本事業を着 開発への貢献 域における産	ままに推進す にも資する口 産業集積の実	ることにより、されずいのでは、現に向けて、気にな企業の呼		
価	西 新圣斉 -	のな島 (3(1)(証用び取事) (第一連お県 参新中野の行限を任込組項 Кの	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 規度進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・討ため、ロボットテストフィールドや国際産学共同利 引発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 をを図る。(略)	受の効率的な選 こおいて産業集 政府方針等に得 期の実現を図る 「指針」(平成28 機器としての活 開施設の整備	宮や拠点 積や新た 復興施 3年12月20 用も実加、	の利活用の な産業位置 の日閣議 では、 の日閣議 では、 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議	促進、各種ス D構築を図る けられており ) コロボットの見 て、浜出する企	。 、本事業を着 開発への貢献 域における産 業に対する支	まに推進するに 産業集積の実 を援により、新	ることにより、を コボット研究・実 現に向けて、 所たな企業の四		
	西 新径斉・材政	のな島(3.(1①(証用び取事) (第一連お県参新中野)(年級) (第一日本) (第二日本) (第三日本) (第三	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 規度進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・討ため、ロボットテストフィールドや国際産学共同利 引発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 をを図る。(略)	受の効率的な選 において産業集 政府方針等に利 期の実現を図る 本指針」(平成28 機器としての活 用施設の整備 かした交流人口	宮や拠点 積や新た 復 年12月20 日本 日本 日	の利活用の な産業位置 の日閣議 では、 の日閣議 では、 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議	促進、各種ス D構築を図る けられており ) コロボットの別 て、出する企 30年度	。 、本事業を着 発への貢献 域における 業に対する支 31年度	まに推進するに 産業集積の実 を援により、新	ることにより、ねコボット研究・実現に向けて、に 所たな企業の呼		
	西 新译斉・材政再生	のな島(3.(1)(証用び取事) (第一階連お県参新)中略を化込組項 КР・	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 規度進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・討ため、ロボットテストフィールドや国際産学共同利 引発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 をを図る。(略)	受の効率的な選 において産業集 政府方針等に利 期の実現を図る に指針」(平成28 機器としての活 機器としての活 用施設の流人口 成果実績	宮や拠点を	の利法用の な産で いたの は は いたの は は は いたの は は いたの は は いたの は いたの は いたの は いたの は り は り り り り り り り り り り り り り り り り	促進、各種ス D構築を図る けられており ) コロボットの限 て、進出する企 30年度	。 、本事業を着 発への貢献 域における産 業に対する支 31年度	まに推進する にも資すの 接業集積り、 を接により、 中間目標 - 年度 	ることにより、 コボット研究・実 現に向けて、 所たな企業の四 日標最終年月 - 年度 		
	西 新圣斉・材政再主計画版	のな島(3.(1①(証用び取事) (第一階層) (連お県参新)中略を化込組項 КРІ	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 規度進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早ま )「原子力災害からの福島復興の加速のための基本 たな生活の開始に向けた取組等を拡充する ・長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 ・特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の ・討ため、ロボットテストフィールドや国際産学共同利 引発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 をを図る。(略)	受の効率的な選 おいて産業集 政府方針等に利 期の実現を図る 、指針」(平成28 機器として整人 機構施設交流 成果実績 成果実績 して整値	宮や拠点復り、 第412月26	の利法用の な産で の日閣議 会して 日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議 の日閣議	促進、各種ス D構築を図る けられており ) コーボ、浜山 の は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	。 、本事業を着 開発への貢献 域における産業に対する支 31年度 - -	まに推進するに 産業集積の、第 中間目標 - 年度	ることにより、 コボット研究・実 現に向けて、 所たな企業の四 日標最終年月 - 年度 		
	西 新経済・財政再主計画政革	のな島(3.(1①(証用び取事) (第一階層) (連お県参新)中略を化込組項 КРІ	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早まれたな生活の開始に向けた取組等を拡充する 中長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の 開発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 日本を図る。(略) 分野:	受の効率的な選 おいて産業集 政府方針等に利 期の実現を図る 、指針」(平成28 機器として整人 機構施設交流 成果実績 成果実績 して整値	宮や拠点 復 積 類 3 年 1 2 1 3 1 2 1 3 1 3 1 2 1 3 1 3 1 3 1 3	で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	促進、各種ス の構築をでおり かられており の構築の の形で、 の形で、 の形で、 のので、 ののでで、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、	。 、本事業を着 第発への 貢献 域に対する ま 31年度 - -	まに推進す にも 資積り、 を を 接援により、 中間 目標 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	ることにより、 コボット研究・実 現にの業の可 日標最終年月 - 年度 		
	西 新経済・財政再主計画政革	のな島(3.(1①(証用び取事) (第一階層) (第二連お県参新)中略を化込組項 КРІ К	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早まれたな生活の開始に向けた取組等を拡充する 中長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の 開発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 日本を図る。(略) 分野:	受の効率を発生している。	宮や類点 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	促進、各種ス の構築れており かられており の構築のよう のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	。 、本事業を着 開発への貢献 域に対する支 31年度 - - - 31年度	まに推進す にも 資積り、 を を 接援により、 中間 目標 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	ることにより、神 ボット研究・実現に向けて、所たな企業の呼 目標最終年月 - 日標最終年月		
	西 新径斉・材政再主計画牧革工程表 2	のな島 (3.(1①(証用び取事) (第一階層) (第二階層連お県参新)中略を化込組項 KPI KPI KPI	により福島ロボットテストフィールド等の各拠点施設 関促進等を進めていくことで、福島県浜通り地域等に これら福島イノベーション・コースト構想関連事業は 兵通り地域等の広域的かつ自立的な経済復興の早まれたな生活の開始に向けた取組等を拡充する 中長期・広域の将来像 長期・広域の将来像 特に、災害現場への搬送や防災の研修・訓練等の 開発等の一層の促進や、拠点の強みを最大限に活力 日本を図る。(略) 分野:	受の効率を対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対して対	宮 で で で で で で が 新 に の に に の の に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	で は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	促進、各種ス の構築れており かられており の構造ない。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	。 、本事業を着 開発への貢献 域に対する支 31年度 - - 31年度	まに推進す にも にも にも にも ままに は ままに にも にも にも ままに にも にも ままに にも にも にも ままに にも にも にも にも にも にも にも にも にも に	ることにより、社会ではない。 可能では、所たな企業の所になる。 日標最終年度 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		

		事業所管部局による点検	••改善	
		項 目	評価	評価に関する説明
国	事業の目的	は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	福島イノベーション・コースト構想に基づき、福島浜通り地域等における産業集積や新産業の創出を目的としていることから、同地域社会のニーズが反映されている。
費投入の必	地方自治体	、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	福島浜通り地域等の復興のために、各種プロジェクトの具体化など産業集積や新産業の創出に向けた取組は、国主導で実施することが必要。
要 性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針(平成28年12月20日閣議決定)」等において、福島イノベーション・コースト構想の推進が掲げられており、本事業を速やかに推進する必要がある。
	競争性が確	保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	
		競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 応札又は一者応募となったものはないか。	無	福島県に補助を行い、福島県からは福島イノベーション・ コースト構想の推進を担う団体に業務を委託し事業を実施。
	競争怕	生のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との	負担関係は妥当であるか。	0	国が策定した福島イノベーション・コースト構想の拠点運営 やプロジェクトの具体化についての経費を補助するものであ
事業の効束	単位当たり	コスト等の水準は妥当か。	0	福島イノベーション・コースト構想の推進に必要な経費を補助しており、妥当である。
率 性	資金の流れ	の中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	0	事業に必要な経費を精査しており妥当。
	費目・使途が	が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	必要な経費のみを計上している。
	不用率が大	きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	0	拠点施設の整備の遅れに伴う不用のため
	繰越額が大	きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	_
	その他コスト	・削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	福島県、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推 進機構
事	成果実績は	成果目標に見合ったものとなっているか。	0	拠点施設で行われる実証を実用化し、最終的な事業化、浜 通り地域での新規プロジェクト創出につなげていく
業の		当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 低コストで実施できているか。	-	_
有効	活動実績は	見込みに見合ったものであるか。	-	_
性	整備された	施設や成果物は十分に活用されているか。	-	_
点検・改	点検結果	本事業は、福島イノベーション・コースト構想のプロジェクトについて、県 要な費用を補助するものでり、本事業を予算という手段で支援することに		
\$善結 果	改善の 方向性	本事業の目標達成に向けて、点検項目の評価を維持していく。		
		外部有識者の所見	ļ	
 <b>ミ績</b> る	<u> </u>	算の適正化をはかること。適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行	ーニー・	
		行政事業レビュー推進チー	ムの所見	₹
	現状通り	ボットテストフィールドの自立的な運営に向けた在り方を早急に検討すべる	き。	

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

ロボットテストフィールドの自立的な運営に向けた在り方について、福島県・関係機関と検討を進めている。

現状通り

		備和	<b>考</b>			
		関連する過去のレビュ	ーシートの事業番号			
平成22年度 -	平成23年度	-	平成24年度 -		平成25年度	
平成26年度 -	平成27年度	-	平成28年度 -		平成29年度 -	
平成30年度 復興		<b>「ない新規事業、新規要求事業</b>	1-01-71-1111	<u> </u>		
資金の流れ (資金の受けのででででででででででででででででででででででででででででできるができませんできます。)		(補助 (補助 拠点施記 【補助・委託】 B. 公益財団 ション・コー	A. 福島県 ・委託:447百万円)  安の運営準備事業  弘法人福島イノベースト構想推進機構 38百万円)			

費目・使途		A.福島県		B.公益財団	法人 <b>届</b> 島イノヘーンョン・コース  構	`愽恕推進機
(「資金の流れ」に おいてブロックご	<b>算日</b>	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
とに最大の金額 が支出されている	事業費	構想の推進に必要な事業を実施	323	事業費	構想の推進に必要な事業を実施	223
者について記載する。費目と使途	運堂費 運営費	福島ロボットテストフィールドの運営	124	運営費	福島ロボットテストフィールドの運営	115
の双方で実情が 分かるように記 載)	計		447	함		338

## 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県	7000020070009	民間団体等への業務委託 拠点施設の運営	447	補助金等交付	1	-	-

В

_								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人福島イノベーション・コースト 構想推進機構	3380005011893	構想の推進に必要な事業 の実施	338	補助金等交付	-	-	-
2								
3								
4								
5								

6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

С

C								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

D

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

Е								
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								

27				
28				
29				
30				

F								
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

Н

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								

6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
	支出先上位10年	<b>皆リスト欄について</b>	さらに記載が必要な場合は	チェックの上	【別紙3】に記載	チェック	

## 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	国庫頂傍貝担打局寺による実形元工位10名リスト										
	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											

	-				
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					